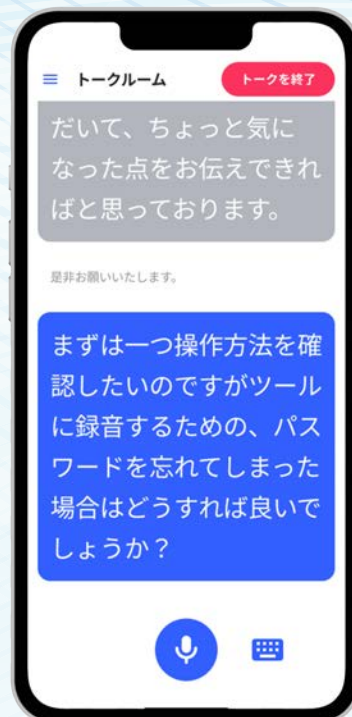


聴覚障がい者 コミュニケーション 支援アプリ

開発の背景

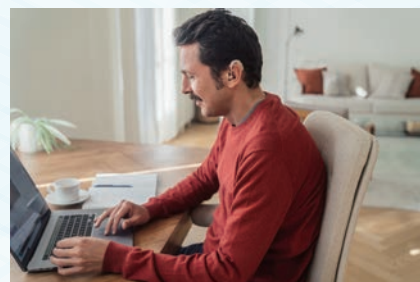
聴覚障がい者のコミュニケーション手段は手話、発話、筆談など様々あり、各自がこれらを組み合わせてやり取りしています。中でも聴覚障がい者の発話は個人差が大きく、個々の特性が大きく出るため、健聴者が聞き取りが難しいケースがあります。



聴覚障がい者を含むチームで開発しています

アプリの特徴

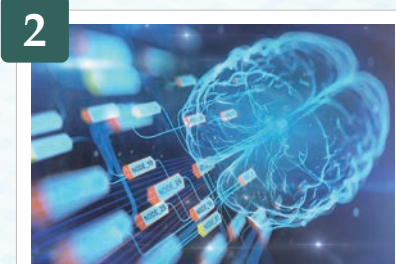
- ・聞き取りが難しい聴覚障がい者の発話を文字に起こし、日常会話や会議で使用できます。
 - ・聴覚障がい者と健聴者の双方の発話を一つのアプリで音声認識し、文字を通じて会話ができます。
 - ・スマートフォンでもPCでも、対面でもオンラインでも使えます。
- ※健聴者の発話を音声認識するアプリはありますが、聞き取りが難しい聴覚障がい者の発話を音声認識するアプリはありません。



使い方



1 利用者である聴覚障がい者が複数の定型文を読み上げ、録音データを作成します。現在は録音に約8～10時間かかりますが、今後改善していく予定です。



2 その録音データからAIが発話の特徴を学習し、個人専用の音声認識モデルを作ります。



3 個人専用の音声認識モデルをアプリに実装し、発話を音声認識させます。